

三雲・草津養護学校の視察へ

日本共産党の議員団が養護学校の視察へ行きました。松井議員は三雲養護学校で、川波議員は草津養護学校で視察を行いました。施設の規模に対して生徒の数が多く実態について伺ってきました。

養護学校の抱えている問題

通学時間が60分越え

ない。スクールバスによる通学時間が60分を超える長時間に及んでいるなどの問題があります。

開校時、103名が現代は300名越え

養護学校の施設の規模に対して生徒数が多すぎる問題が指摘されてきました。例えば、教室が不足しており、特別教室を通常教室として使用するなどして、調整している。給食供給能力がぎりぎりであり、一部の教職員にまで給食が提供できないことなどから、子どもたちと同じものを食べて共感する食育ができません。



草津養護学校を視察する川波議員

草津養護学校では開校時は103名の生徒でしたが現在は300名を超えています。スクールバスも開校時は3台だったものが、現在は10台にまで増えており、長い生徒では通学に100分近くかかっています。しかし、学校のスペースの都合から、これ以上バスを増やすことは難しい現状です。教室については、現在新校舎を増築中であり、完成すれば調整がしやすくなりそうだと語っておられました。

一方で、インクルーシブ教育が推進されることから、生徒数は現在がピークであり、今後は減少する見込みだとも語られました。



三雲養護学校を視察する松井議員

インクルーシブ教育とは

従来、障がいを持つ子どもたちは養護学校などで教育を受けることで、通常の学校に通う子どもたちや地域との接点が少なくなる傾向がありました。

インクルーシブ教育では障がいの有無に関わらず、共に教育を受けることで、多様性を尊重し合う共生社会の実現を目指しています。そうすることで、障がいのある子どもとそうでない子どもの交流が増え、地域との関わりも増え、障がいのある子どもたちが社会に参加しやすくなることを目指しています。

こうした観点から、今まで養護学校に通っていた子供たちも地域の学校や、その中の教室に通うようになる見込みがあります。現在でも養護学校

急がれる雨水排水対策

菩提寺地先の水害問題

菩提寺地先の水害問題について、引き続き調査を行っています。7月の大雨の際には55cmも水が来て、住宅に影響はなかったものの倉庫が浸水した、車を高いところへ避難させたとお話を伺いました。別のお宅では、大雨が降るとトイレから水が逆流してくるといふ大変な状況であるというお話も伺いました。

生田邦夫市長「お金がない」と一言

この地域では、従来から遊水地の様な役割をはたしていた場所に、新たに宅地や商業地の開発が予定されており、不安を訴える声がありますが、現在でも既に被害が出ています。早急に雨水路の整備を行うなど、対応が必要です。共産党議員団は来年度予算要望で市長と懇談、この地域の雨水排水対策を急ぐべきだと要求しましたが、「お金がない」と一言。何よりも市民の安全を守ることが優先されるべきではないでしょうか。

日本共産党参議院議員

山添 拓 来たる

日本共産党演説会

とき 11月12日(土) 午後2時開会

ところ 大津市民会館大ホール

大津市島の関 14-1
JR大津駅より徒歩10分
京阪石坂線：島の関駅より徒歩2分

山添 拓・日本共産党参議院議員
大津市民会館で
お会いしましょう

2022年10月号外
発行：日本共産党滋賀県委員会 大津市馬場2丁目11-15 平賀ビル2F 日本共産党が以上のように発表しました。

相次ぐ値上げで庶民の暮らしが圧迫されているにもかかわらず、生活支援に踏み出さず、ウクライナ戦争をきっかけに軍備拡大への動きを加速させる、自民党政治の転換が強く求められているのではないのでしょうか。参議院選挙・東京選挙区で勝ち抜き、「憲法を生かす」を信条に奮闘中の山添拓参議院議員が、統一教会と自民党との仲着、憲法問題など政治の現状と改革の展望を語ります。ぜひおこしください。

湖南民報 2022年11月4日(金) No.506号 日本共産党湖南市議員団

福祉教育 常任委員会 松井けい子 0748-77-2049

産業経済 常任委員会 川波 忠臣 050-3554-3822

090-9691-1027

湖南民報は「赤旗」に折りこんでいます。